

# KISC 2

2022  
February

Kagoshima Industry Support Center



株式会社 丸俊  
代表取締役社長  
横山 恵美さん

# 今号の表紙



「鹿児島県漁業振興大会水産物品評会」  
受賞商品の『味なまり本節 一口サイズ』  
『枕崎かつお三昧』

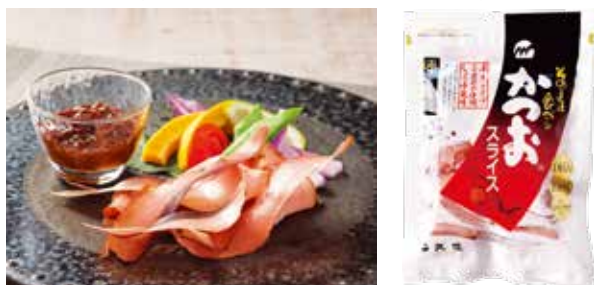
今号の表紙は、かつお節・かつお製品等を製造販売している株式会社丸俊の代表取締役社長 横山恵美さんです。

1961年に鹿児島市内でかつお節・海産物の小売店からスタートした同社は、お客様と直接向き合い会話を重ねていく中で、『品質のいいものをお客様に食べていただきたい』との思いから、1970年に、かつお節製造の伝統が受け継がれ、生産量日本一の枕崎市に生産拠点を設けました。

現在は、原料のカツオの買い付けから製造・加工・卸・小売販売まで一貫して行っており、豊富な加工技術でさまざまな商品を開発しています。鹿児島県内に小川町店・始良店・国分店と3店舗の直営店があり、自社商品を中心に海陸産物なども販売しています。

## ◇消費者ニーズに合わせた新商品開発

主力商品の「そのまま食べるかつおスライス」は、やわらかいなまり節を原料に味付けし、食べやすいように厚めにスライスした製品で、製造特許を取得しています。2014年には、水産庁の「ファストフィッシュ商品」（調理や手間がかからず手軽においしく水産物を食べられる商品）に認定され、メディアでもよく紹介されたことから、首都圏等でも売り上げを伸ばしています。



「そのまま食べるかつおスライス」

## 株式会社 丸俊

代表取締役社長 横山 恵美

### <企業概要>

所在地 鹿児島市小松原1-46-1

枕崎工場 枕崎市塩屋北町723

設立 1961年

従業員数 40名

事業内容 かつお節・かつお製品、削りぶし、海産珍味、佃煮等の製造・卸小売

T E L 099-266-2211

F A X 099-266-2212

U R L <https://e-marutoshi.co.jp/>

通販やネットショッピングにも力を入れており、コロナ禍による巣ごもり需要増もかさなり、昨年末にはインフルエンサーがSNSで紹介したことで注文が殺到しました。

また、同社では、社員等が積極的に「枕崎カツオマイスター」を取得し、消費者のニーズに合った「かつお節等を知り尽くしてこそ生み出せる簡単・便利な加工品」の開発に取り組んでいます。2021年10月には、『味なまり本節 一口サイズ』が「鹿児島県漁業振興大会第55回水産物品評会」漁業振興大会長賞を受賞しました。

生産効率向上の「カイゼン活動」にも取り組むとともに、「鹿児島県ものづくり先端技術（IoT・AI等）導入等補助金」を活用して製造工程に温度監視システムを取り入れるなど、IoT導入により生産性が向上したことで、売上高の増加や残業時間の削減などが進んでいます。この取組が評価され、令和2年度『食品関連産業「カイゼン」活動取組優秀社』の知事表彰を受けられました。

さらに、同社では、将来の海外展開も見据え、鹿児島本社工場や枕崎工場でHACCP認証を積極的に取得しています。

## ◇今後の取組

「現在、機械やシステムなどの導入を図り、デジタル化・自動化・省力化を目指した業務改善に取り組んでいます。これによって生産効率を上げ、標準化した働きやすい環境と会社の成長を目指して頑張っております。

また、『伝統から生まれる本物の美味しさを』をモットーに、自然の恵みに感謝しながらかつお節・削り節・かつお加工品・佃煮など、お客様のニーズに合ったさまざまな自社ブランドの製品作りに日々努めております。皆様の食卓にかつおの美味しさをお届けし、喜んでいただきながら、これからも健康で豊かな食文化に貢献してまいります。」と、横山社長は語っています。

## CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 よろず支援拠点支援事例
- 5 プロフェッショナル人材戦略拠点
- 6 取引振興コーナー
- 7 わが社の輝く女性 株式会社 南光 上田平 恭子 さん
- 8 会員企業PRコーナー
- 10 ベンチャープラザコーナー
- 13 特集 新産業創出ネットワーク事業（研究開発支援）事例紹介
- 14 特集 食品関連産業「カイゼン」活動強化支援事業 支援事例紹介
- 16 広告





# 私の 思い



鹿児島信用金庫  
理事長 中俣 義公

1965年3月 鹿児島商業高校卒業  
1965年4月 大蔵省南九州財務局入局  
2001年7月 鹿児島信用金庫入庫  
2003年7月 同金庫常勤理事（融資第二部長兼  
融資管理部長委嘱）  
2008年10月 同金庫専務理事  
2017年6月より現職

## 中小企業応援士としての取引先へのさらなる伴走的なサポート！

鹿児島信用金庫は、中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため地域金融機関として密接な関係づくりに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐え得る経営体質をつくりあげ、お客様の総合的パートナーとして、また、地域文化の発展に役立ち皆様とともに成長・発展を目指す金融機関として、1922年10月1日に有限責任鹿児島信用組合の名称で設立し、今年で100周年を迎えます。

当金庫は5つの基本方針を掲げ、店舗統廃合及び昼休み時間導入店舗（現在29店舗）など経営効率化を積極的に取り入れ、鹿児島市内15店舗・地方店舗22店舗・合計37店舗を構え展開しております。

また、2011年7月に中小企業の経営の改善及び地域活性化のための取組として「かしの杜」を創設し、お客様の課題解決に努めてまいりましたが、この取組を通じてSDGs（「持続可能な開発目標」）の達成に向けて社会貢献活動を積極的に展開することで地域経済・社会・環境等の諸課題解決にも取り組んでおります。

2017年6月の総代会で理事長を拝命した際に「最重点基本方針」を制定し、「取引先への伴走的なサポート」「地域貢献の更なる徹底」「鹿児島における継続性確保のための収益力等の強化」を掲げ、業務運営を行ってきました。2018年2月には伴走的なサポートを全面的に支援するために「企業サポート部」を創設し、地域とともに成長・発展を目指す「共創」への取組として、信用金庫にしかできないお客様に寄り添ったきめ細かな伴走的な支援を継続的に行っております。

特にデジタル化が進む中で昨年5月には九州の信用金庫で初めての「インターネット支店」を開設し、また、11月には「ITの杜」業務連携協定を活用したサポート体制を、かごしま産業支援センター等々8団体と業務締結を行い、ITによる経営課題解決・効率化・人手不足解消・売上拡大の貢献などの支援活動を行っております。

また、コロナ禍で事業縮小が余儀なくされる中で、金庫組織会員のハッピー会会員限定の交流サイト「きばっど・かごしま」にてビジネスマッチングの展開を支援するなどさらなる伴走的なサポートも強化しております。

今回、中小企業基盤整備機構より「中小企業応援士」に委嘱されました。中小企業・小規模事業者の活躍及び地域の発展に顕著な功労のあった支援機関を対象に、令和元年からスタートした制度で、令和3年度65名のうちの1人として選出されたのですが、九州の金融機関としては初めてであり光栄に存じます。今後益々、顧客支援に拍車をかけてさらに取り組んでまいりたいと思います。また、全国202名の応援士の方々と定期的にWeb会議を行い知り得た多種多様な情報を、当金庫営業店よりKISC会員の皆様に発信させていただきますので是非、ご活用いただけましたら幸いです。

当金庫は、地元鹿児島で一番身近で頼りになる金融機関としてこれからも常に伴走的なサポートに徹した取組を行ってまいります。

最後に皆様の益々のご発展を心より祈念いたします。

# よろず支援拠点支援事例



思考を変えるリブランディング。  
『裏を表にする！』  
他機関連携でこそ実現できた  
抜本的改革・経営改善。

道の駅「樋脇」遊湯館  
株式会社 遊湯館

経営  
改善

代表取締役社長

石脇 親文 (いしわきちかふみ)

(0996) 38-2506

〒895-1203 鹿児島県薩摩川内市樋脇町市比野156  
<https://hiwakiyuyukan.jp/>

## □事業者様概要

鹿児島県薩摩川内市樋脇の道の駅。以前は温泉街として知られ多くの観光客が訪れていたが、その後減少し、県道に面した好立地にも関わらず、集客が少なく売上が伸びない状況が続いた。市や生産者、地元会社などが集まり2000年5月に株式会社を設立し、市営から民間による運営に変わった。地元生産者の収入確保と雇用創出、観光案内所としての情報発信など様々な機能を集結し、地域の再興を目指している。

## 1現状 | リブランディングによる抜本的改革

民営に変わり20年経った施設の老朽化に伴い大規模改修工事を予定。改修工事に合わせて道の駅のリブランディングをし経営改善を行う必要があると、金融機関より紹介を受ける。当施設は物産館と飲食コーナー、観光案内（トイレ、足湯）と大きく分けて3つの役割がある。それぞれの役割を強化する計画を立て経営改善を行う形となった。



## 2課題 | 飯の種とは

施設の老朽化により商品の陳列や清潔感、動線などの最適化が行えておらず、物産館、飲食、観光案内とそれぞれの役割と現状分析が不十分であった。売上構成比としては物産館が約7割と多くを占めていたが、粗利が良いのは飲食コーナーと軽食コーナーである為、売上の見込めるプランの中に粗利の良い部門の販売力強化を入れ込む必要があることが課題とされた。また、売上金額だけでなく、利益を生む物は何か、経営改善に必要な数字をデータ化し、可視化することも課題であった。当初の相談では当拠点、金融機関、商工会、地元物産協会と協議を重ね方向性について構築を行った。

## 3対応 | 強化ポイントを明確にし、取り組むべき内容の把握をする

物産館は全て仕入れ商材のため、粗利が一定で利益率が低いことから飲食コーナー、軽食コーナーでのオリジナル商材の売上拡大を提案。薩摩川内市と物産協会も同席し、軽食コーナーの充実を計画。また、立地場所が山間部であることから、物産館で魚介類が購入できる事をこの施設のストロングポイントとして打ち出すよう、商工会指導員と共にアドバイスをを行った。さらに、県道に面している入り口が狭く閉ざされた雰囲気がある為、顧客導線の視点や新規来場顧客（購買見込み客）の拡大策として、現状の表を「裏」にし、施設の裏側の大型駐車スペースがある部分を「表」にするよう提案。施設の備品、設立当初（市営）の看板や垣根などには清潔感を求め、従業員の意識改革を行い、新たな空間作りをするよう提案を行った。

## 4成果 | ついでに立ち寄る施設から『わざわざ訪れる道の駅』へ

来場客は毎月2万人から3万人になり、開業から下がっていた売上もリニューアルを機にV字回復の兆しが見え、コロナ禍の最中にも関わらず過去最高の売上になっている。社長を含め従業員の方々の働く表情からは、今後更なる躍進を遂げると確信している。今後は、薩摩川内市のシンボリック存在として、地域外からより多くの人々が『わざわざ訪れる道の駅』となり、他の道の駅のモデルケースになることが期待される。



### 支援のポイント

今回の案件の最大のポイントは他機関連携により実現した経営改善ということである。金融機関、市、物産協会、商工会、ミラサポによってリブランディングが実現した。来場者の目的をより明確にし、ワクワクできる空間の演出を軸に、ターゲット変更で地域外からの集客の強化がポイントとなった。粗利の良い商材を把握し費用対効果を上げ、他機関と連携し売上見込みをより明確にできた事によって当初の想定していた額よりも多くの資金調達を実現した。



### 相談者の声

お客様に喜んでもらえる取組をスタッフ一同積極的に行うようになり、客層の幅が広がり、客単価が向上しました。以前より職場への愛着が増したように思えます。売上目標はこれまでよりも高い数値を設定。コロナ禍でも売り上げが落ちていません。よろず支援拠点という大きなバックボーンが出来て、事業の推進力が増しました。



Instagram



Facebook



LINE



TEL / 099-219-3740  
<https://yorozu-kagoshima.jp/>

カゴよろ



## プロフェッショナル人材戦略拠点

企業のチャレンジを担える人材との  
マッチングをお手伝いします！

## プロ人材 322件（うち副業・兼業3件）の採用成約が実現！

県内企業の成長発展を人材面で積極的にサポート。お気軽にご相談ください。

県内中小企業にも経営力向上の新たな取組が求められている現在、それを実現するための人材の不足も指摘されています。

「鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点」では、県内企業の皆様から、人材に関し多数のご相談を受け、経営人材や専門人材、即戦力人材等の求人に関し、**適合する人材の採用・獲得**に向け、登録人材紹介事業者等を介してマッチングをサポートしています。一昨年から、**副業・兼業人材の活用**についてもサポートしています。

本県プロ人拠点では、平成28年1月の開設以来約6年で、322件（人）（うち副業人材3件）のプロ人材の採用成約が実現しています。（令和4年1月末現在）。

採用されたプロ人材の中には、首都圏や関西圏から鹿児島にU Iターンして転職された方もいます。

プロ人拠点では、今後も、成長を望む企業や新たな経営戦略・プロジェクト等に取り組もうとしている企業の方々に、必要な**プロ人材の採用や副業・兼業人材の活用マッチング**をサポートしていきます。

### 〔副業・兼業人材活用の地域企業にとってのメリット〕

#### ① 問題解決の即戦力

地域外の優秀なプロ人材を中小企業等で「副業・兼業」という形で活用することにより、これまで困難だった新たな業務展開や販路開拓を進められます。

#### ② 低コスト、短期間活用が可能

「副業・兼業」としての業務従事であることから、優秀な人材を低コストで、期限を設け活用できます。

#### ③ 既存社員の意欲・スキルの向上

優秀な外部人材活用・交流で、既存社員の意欲・スキルアップにつながります。

### ※副業・兼業人材活用の事例

食品製造業の営業戦略の策定に活用、住宅建設業のSNS広報に活用、印刷業の社員デザイン教育に活用、食品製造業のECサービス向上に活用 など

### 〔実績概要〕

#### ● プロ人材の受入企業の業種等

- ・ 製造業（食料品、生産機械等）、総合工事業、設備工事業、情報通信業、食料品卸小売業、不動産業、技術サービス業、宿泊業、教育学習支援業、医療・福祉業、など

#### ● プロ人材の担当ミッション

- ・ 経営管理、販路拡大、生産性向上、事業分野拡張、研究開発など

プロ人材求人相談会の風景



### 〔プロフェッショナル人材戦略拠点〕

人材戦略マネージャー	木場	信人
サブマネージャー	福永	敬大
人材活用支援専門員	内田	健一郎
人材活用支援専門員	野元	慶一
人材活用支援専門員	有村	吉弘

◇（公財）かごしま産業支援センター  
鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点  
TEL：099-219-9277 FAX：099-219-1279  
E-mail：projinzai@kisc.or.jp  
URL：https://www.kagopro.jp/



## 取引振興コーナー

### 『令和3年度 かごしま取引商談会』を開催しました！

県外の発注企業を本県に招き、県内受注企業と直接商談していただく「かごしま取引商談会」を開催しました。当日は、**関東、中部、関西、中国、九州地区から14社の発注企業、県内から36社の受注企業**にご参加いただき、活発な商談が行われました。

また、商談会の前日や翌日には一部の発注企業が県内企業を訪問し、工場見学を行いました。

この商談会をきっかけに新たな取引が開始され、県内企業の受注拡大や新分野の参入に結びつくことが期待されます。



開催日	令和3年12月16日（木）
場所	鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島市）
主催	（公財）かごしま産業支援センター
発注企業	14社 ※うち2社は、各2ブースで実施
受注企業	36社
実績	商談数112件 ※フォロー調査を今後実施予定

取引振興課では、今後も県内企業の皆様と情報交換を行い、取引の拡大や新たな販路の獲得に向けて貢献できるよう努めてまいります！

## 発注情報

九州7県合同による全国の発注企業を対象にした発注案件の調査を、年2回、6月と11月に行っています。今回は、11月の調査で発注申込みがあった一部を掲載します。紹介をご希望の方は取引振興課までご連絡ください。なお、お手元に届くまでにあっせん済みになっている場合がありますので、その際はご了承ください。

	所在地	発注品目	数量	加工内容	発注条件	
					必要設備	材質
1	宮崎県	樹脂加工	協議	丸棒・板材からの加工	旋盤/マシニングセンター	PTFE
2	茨城県	樹脂加工	1～数十個	精密機械加工	NC旋盤 / 複合旋盤/ マシニングセンター/ 5軸マシニングセンター	スーパーエンブラ
3	愛知県	機械加工	多品種小量 1～2個	φ500以下 設備のベースプレート 1000×2000以下位	マシニングセンター/旋盤/ 研削盤/形彫放電加工機/ ワイヤー放電加工機	鉄 非鉄金属
4	兵庫県	機械加工	協議	鍛造機械加工(切削) バー材機械加工(挽物)	NCベンダー/ マシニングセンター	SUS20φ～180φ 鉄20φ～200φ アルミ10φ～180φ

【お問合せ先】（公財）かごしま産業支援センター 取引振興課 TEL：099-219-1274

# わが社の輝く女性！

今号でご紹介するのは、南九州最大規模の工場と高い加工技術を持つ総合金属加工メーカーの株式会社南光で、営業統括部に所属し機械加工等の営業を担当している上田平恭子さんです。

## 株式会社 南光

所在地：鹿児島市七ツ島2-1  
 設立：1971年  
 従業員数：240名  
 事業内容：建築金物設計・製作・施工・製缶・  
 焼付塗装・精密板金・精密機械加工・  
 セラミック加工・レーザー加工・  
 ベンダー加工・プレス金型設計  
 TEL：099-263-0890  
 FAX：099-261-0909  
 URL：<http://www.nanko.co.jp>  
 E-mail：[info@nanko.co.jp](mailto:info@nanko.co.jp)

## かみ た ひら 上田平 恭子さん 営業統括部 第二営業部

さそり座、B型  
 鹿児島女子高校卒  
 趣味：ゴルフ修行中  
 （歴1年弱・ベスト122）  
 好きな食べ物：焼き鳥・小籠包・果物  
 嫌いな食べ物：生トマト



### ◇会社紹介

金属加工を始めとし、セラミックなどの難削材と呼ばれる素材の加工までできる技術を有し、建築・装置・プラント・自動車関連など、あらゆる分野の仕事に携わっており、南光に頼めば作れないものはないと思われるくらい基本、何でも取り扱います。自社で作れない物がある場合は、他社様とのつながりをもって対応しています。何かありましたらお気軽にお声掛けください。

### ◇会社での現在の担当部署は

営業統括部（第二営業部）の一員として、主に機械加工の窓口を行っております。入社し3年、現場から営業に移り1年となります。



### ◇入社のかっけは

「和風総本家」というテレビ番組から影響を受け、職人さんに憧れを持ったことがきっかけです。縁があり、県外のレアメタル加工業者に入社し汎用旋盤を5年ほど扱っていました。3年前に帰鹿し、祖父が起業した当社に勤めることになりました。

### ◇仕事上での印象深い体験談など

製造現場での作業は、直接自分で製品を作ることが、スリリングでかつ面白く、製品が完成する達成感は、いつまでたっても新鮮です。一方で、背が小さく、機械に這いつくばるためか、常に他人より作業着が粉塵や油で黒く汚れていました。洗濯

機に直接かけるには気が引けるので、一度手洗いを挟むのですが、そのひと手間がなかなか大変でした。営業をしていると、これまで自分が作っていたものが、どういう風に使われているか知る機会も多くあります。この機会を得たことは、今後、また仕事をしていく上でのモチベーションに繋がります。又、様々な方のお話を伺う機会も増え、率直に人との出会いが興味深く大切なことだと感じます。

### ◇ものづくりに対する思いや心がけていること

モットーは「何事も勉強、初心を忘れず、楽しく」です。元々製造現場で、主に汎用旋盤を扱ってきました。そんな私からすると、当社の事業分野の広さもそうですが、世の中の様々な設備や製作方法の多さに、モノづくりの広さと深さを感じています。どの業界もそうですが、それぞれに第一印象があります。工場勤務、製造業というと3Kをイメージされ魅力を感じる方は少ないのかなと思います。実際に3Kに間違いはないと思いますが、それ以上の魅力がもっとあると思います。そんなところがドラマに使われ印象が変わらないかなと秘かに願っています。

### ◇会社への思いや抱負について

今はまだ、先輩方のすねにかじりついた仕事しかできておりません。お客様のご要望に応え、また提案できるくらいに知識をつけ、楽しく働く事と同時に社会の役に立つ事が仕事への抱負です。





会員企業PRコーナー【情報会員限定】

事業案内、商品案内、新製品紹介等  
会員企業の営業活動を支援します！

鹿児島ケース株式会社

<https://www.kcase.jp/>

信頼と実証 ～信頼の心をつなぐモノづくり～

◆私たちは、経営方針としてお客様価値、社員価値、社会価値を高める経営に取り組んでいます。確立した技術とノウハウで、高精度かつ難加工の製品を得意としています。

弊社独自の生産管理システムで管理、ファイバーレーザー溶接・ファイバー切断・小ロット多品種の対応、QCDの徹底・短納期対応・複雑な曲げ加工／溶接加工の対応、精密板金加工と機械加工の複合製品の製作・アッセンブリ、治具等を使い特殊な曲げ加工対応、薄板同士の溶接・アルミ溶接にも対応しております。



日置市吹上町与倉4954-19  
TEL 099-245-1960  
資本金 1,000万円  
従業員数 49名

◆事業内容  
ステンレス・鉄・アルミ・銅・真鍮の精密板金加工。  
主要製品は半導体装置関係、医療機器関係、食品機器関係、産業機器関係の精密板金部品。

【1993年6月会員加入】

有限会社 尾塚水産

<https://www.ozuka.co.jp/>

ウニ取り名人の海女をはじめ、女性が中心に営む『うに屋』です。

◆昭和27年の創業以来、阿久根市でウニを扱う水産加工業を営んでまいりました。現在は、女性を中心とした『うに屋』として、味と品質にこだわり、製品を手作りしております。おかげさまで、第38回水産物品評会「農林水産大臣賞」や、ウニ殻等の活用研究で九州経済産業局の中小企業地域資源活用プログラムに選ばれるなど、多方面で評価をいただいております。これからも、鹿児島のウニの美味しさを全国の皆様へお届けできるよう、地道に頑張っております。機会がありましたら、ぜひ一度ご賞味いただければ幸いです。



阿久根で獲れた「うに」と、地元食材「たけのこ」「たかな」「えのきだけ」のコラボ商品『うにとも』（真空袋入り）を開発しました。

阿久根市西目6675-1  
TEL 0996-72-0742  
FAX 0996-73-0814  
資本金 300万円  
従業員数 3名

◆事業内容  
ウニの採取及び加工販売  
海産物、魚介類の加工販売

【2013年7月会員加入】

有限会社 大成畜産

<http://www.oonari-chikusan.com>

曾於市を元気につ！！『やごろう豚』の大成畜産（おおなりちくさん）

◆「養豚場とは食品産業であり、安心・安全そして消費者から喜ばれる美味しい豚肉を生産しなくてはならない」という考えのもと、自分たちで生産した『やごろう豚』を試食、検品等を行いながら、新たな挑戦を続けています。



曾於市大隅町大谷5066-6  
TEL 0994-82-4338（代表）  
FAX 0994-82-0375  
資本金 300万円  
従業員数 60名

◆事業内容  
養豚業及び精肉店  
レストランの運営

【2014年9月会員加入】



**掲載企業募集中！** センター『情報会員限定』、掲載料無料です。お申込みは下記まで

【申込み・問い合わせ先】 (公財) かごしま産業支援センター 総務情報課

TEL : 099-219-1275 FAX : 099-219-1279 E-mail : info@kisc.or.jp

## 正込法律事務所

<https://shogomori.com/>

**弁護士と社会保険労務士、両方の観点から問題の予防と早期解決に取り組みます！**

◆2010年から6年間は奄美大島を拠点に司法過疎対策に取り組み、「下請かけこみ寺」や「日弁連ひまわりほっとダイヤル」などの中小企業支援のための派遣専門家としても活動しました。2016年4月から鹿児島市にて、個人の民事・家事・刑事事件を扱いながら、人事労務及び紛争対応を中心とした企業法務全般に取扱業務を拡げています。◆強みは、弁護士としての多様な紛争解決経験を活かした、柔軟な紛争解決と社労士の知見による予防的関与です。



**正込法律事務所**  
SHOGOMORI Law Office

鹿児島市山下町9番1号  
チャイムズビル504号  
TEL 099-295-3785  
FAX 099-295-3786  
2008年弁護士登録/2012年社会保険労務士登録/2016年現所在地にて開業/経営革新等支援機関  
◆事業内容  
労務問題・相続問題・企業法務・事業承継・交通事故・ネットトラブル等の法律相談、法律顧問、研修セミナー等。  
月2回のメールマガジン発行  
【2020年4月会員加入】

## 株式会社 太陽漬物

<https://www.taiyo-t.jp>

**地元の鹿児島県宮崎県の大根100%を使用した沢庵メーカーです。**

◆大根を主原料とした塩押し沢庵・干し沢庵・福神漬・つば漬け等の沢庵製品を主に生産しています。

近年では、鹿児島県の高菜収穫量が全国で一番となり、その豊富な原料を使用した高菜漬けの生産も行っています。

地元で取れた安心、安全な風味豊かな野菜を使用し、北は北海道から南は沖縄まで全国を対象とする販売を行っております。是非一度ご賞味ください。

創業48年の間伝統を守り、地元の契約農家様と二人三脚で製造しており今後も変わらずに続けてまいりたいと思います。



曾於市末吉町深川  
字寺山原3670-1  
TEL 0986-76-0292  
資本金 9,000万円  
従業員数 121名

◆事業内容  
使用する大根・高菜は南九州地区に特化し、品種にも沢庵に合う物にこだわっております。

【2021年5月会員加入】

## 鹿児島健康経営アドバイザー協会 (合同会社 Office・Yellowseed) <https://k-kenkokeiei.com/>

**今、会社ぐるみで健康づくりを行うことは、自社の未来への有益な投資です**

◆鹿児島健康経営アドバイザー協会は、健康経営に取り組みたいけれど、何からどうすればいいのかわからないとお考えの企業様のワンストップ相談窓口です。

心の健康×体の健康×健やかな職場環境づくりに役立つコンサルティングサービスの提供だけでなく、ご希望に応じて取組の実施支援も行っております。

まずは、お気軽に無料相談にお申込みください。



東京商工会議所認定  
健康経営エキスパートアドバイザー・  
アドバイザーが対応

鹿児島市住吉町13-7-203  
代表 上村 ひさみ  
TEL 090-9484-8192

◆事業内容  
健康経営コンサルティング  
健康経営優良法人認定申請サポート/心の健康支援(ストレスチェックテスト)  
健康づくり・運動講座  
オンライン運動会/企業交流会/労働安全衛生講座 等提供

【2021年6月会員加入】

## ベンチャープラザコーナー

### 第81回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

令和3年11月10日（水）鹿児島市で開催し、宝来メデック株、「ノアコーヒー」株JUN建設、Buddycare株の県内の3社にそれぞれビジネスプランを発表していただきました。

当日は、来賓に塩田康一鹿児島県知事をお迎えしてごあいさつをいただきました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため入場者を制限した会となりましたが、オンラインでの視聴者も含め、参加者は発表に興味深く耳を傾けるとともに、質疑応答も活発で盛会となりました。

（発表企業累計265社、うち県内企業205社）



来賓の塩田鹿児島県知事



#### ○発表その1 耐アルカリ性光合成菌技術による土壌改良、成長促進 ～『オーガニック エコバランスα』の販路開拓～

（宝来メデック株式会社）

#### 宝来メデック株式会社

代表取締役社長 寶来 豊晴  
鹿児島市卸本町5-20  
TEL：099-260-2445  
FAX：099-260-2859  
URL：http://hm-inc.jp/



発表する  
永留 情報企画管理部 部長



#### 発表内容

##### ＜企業紹介＞

弊社は、鹿児島県を中心に病院、研究機関、検査室等の試薬や機器の販売を行っており、昨年度より開設されたアグリ事業にも取り組んでおります。

##### ＜商品開発のきっかけ＞

『オーガニック エコバランスα』は、鹿児島の1次産業を元気にする商品をコンセプトに販売を開始し、植物の成長促進や土壌改良を行うものとしてスタートしました。

##### ＜商品の特徴＞

作物を栽培するに当たり、アンバランスな土壌の要因として、化学肥料の過剰施肥や土壌が固く排水性が悪いという事があげられており、病気や不作を起していると考えられます。

『オーガニック エコバランスα』で土壌を改良し、健全で良質な土壌づくりの一助ができる商品です。

また、基腐病に対しても一定の防除効果が見られた事が報告されております。



使用例（じゃがいも）

#### 発表後の成果・感想

鹿児島県以外のお客様からのお問い合わせを多くいただくようになり、現在ご使用のお客様を含め、多くのご注文をいただくようになりました。

#### 今後の展望

現在、鹿児島県を中心に販売を行って参りましたが、この度、全国展開を行うため1月1日より弊社から他社へ『オーガニック エコバランスα』の名称を変えて販売を移行する事となりました。



使用例（いちご）



今後弊社の『オーガニック エコバランス a』は、小容量規格（100ml、500ml）を通信販売のみで販売いたします。

通常規格（2L、10L）の商品は『ハイパーリフレッシュ S』という商品名で菌の配合をリニューアルし、株式会社ニチリウ永瀬が販売いたします。

## ○発表その2 国産コーヒー生産の現況と今後の展望について

（「ノアコーヒー」株式会社JUN建設）

### 株式会社JUN建設

代表取締役 山下 純平

霧島市隼人町内666-3

TEL：0995-50-0455

FAX：0995-50-0455

URL：https://noah-coffee.com/



発表する  
東 取締役



国産コーヒー3種の極み  
（和の極み、果実の極み、奏の極み＋珈琲果実ティー）

## 発表内容

### ＜企業紹介＞

弊社のコーヒー事業部（ノアコーヒー）は2008年に沖永良部島でコーヒー農園を開園しました。国内でのコーヒー栽培の実績は乏しく、試行錯誤をしながら独自のノウハウを確立しました。

栽培～加工～焙煎～商品開発～販売まで一貫して行っております。

### ＜商品開発のきっかけ＞

ノアコーヒーは鹿児島県産の食材を使った地産地消をコンセプトにスタートしましたが、国産のコーヒーだけは入手するのが困難でした。そこで自社コーヒー農園を作り栽培して国産コーヒーを生産してみようと思ったのがきっかけでした。収穫した豆を最大限に生かすため、コーヒー豆にはどのような付加価値があるのかコーヒー果実のあらゆる部分の分析を鹿児島大学と共同で研究し、果実丸ごとを生かした健康的な機能性があふれる商品が生まれました。

### ＜商品の目的・特徴＞

今回、コーヒー果実を丸ごと焙煎することに成功しました。通常の焙煎方法では皮の部分が先に焦げてしまいますが、弊社の独自焙煎技法でコーヒー果実を丸ごと乾燥し、皮を焦がすことなく中心の豆をしっかり焙煎する「コーヒー果実丸ごと焙煎」を開発。鹿児島大学に成分分析を依頼し、機能性成分が含まれていることを確認しました。また、果肉のみを使用して「コーヒー果実ティー」も商品化。この皮のみの部分にも多くの機能性成分が含まれており、コーヒー果実が全く新しいコーヒーの商品となりました。



コーヒー農園と赤いチェリー（コーヒー果実）



珈琲果実丸ごと焙煎、完成

## 発表後の成果・感想

この度は、ノアコーヒーの国産コーヒーの商品発表の機会を頂きありがとうございました。国産コーヒーが県内で商品化までに成長したことを、多くの有識者の皆様にお伝えできて本当に良かったです。この発表の為に資料を作成することは大変でしたが、これを機にまとめた資料をもとに早速商談に繋げることができました。そして、貴重なご意見も沢山いただき、今後の展開のアイデアがまた広がりました。

## 今後の展望

これからも国産コーヒーの付加価値を追求していきたいと思います。また、異業種とのコラボにより国内でのコーヒー栽培が皆様のお役に立てれば幸いです。

## ○発表その3 Pet tech を活用した愛犬の健康管理プラットフォームと カスタマイズソリューションの提供 (Buddycare 株式会社)

### Buddycare 株式会社

代表取締役 CEO 原田 和寿  
代表取締役 COO 長井 聖司  
鹿児島市名山町9-15  
mark MEIZAN  
TEL : 050-8881-9029  
URL : <http://buddycare.co.jp/>



発表する  
長井 代表取締役 COO



Buddy FOOD(パディフード)は「安全性」「栄養バランス」「透明性」にこだわり抜いたおいしい愛犬用ごはん

### 発表内容

#### 《企業紹介》

「全ての愛犬が1日でも長く健康に生きられる社会を実現する」ことをミッションに、Buddycareを設立しました。

Buddycareは、鹿児島大学共同獣医学部をはじめとした獣医師の皆様と連携しながら、健康管理プラットフォームの開発・運用を通じた健康データ蓄積と、それらデータの分析を通じた健康ソリューションの提供を行っています。

2021年9月、健康ソリューションの第1弾として愛犬用フレッシュフードのD2Cサービス・Buddy FOODの提供を開始しました。

#### 《商品開発のきっかけ》

愛犬の寿命は延びていますが、それに伴い、生活習慣病で亡くなってしまいう子(愛犬)が8割にのぼります。そのような状況を踏まえ、Buddycareは、生活習慣の改善を通じてペットの健康寿命を延ばすことにフォーカスしています。

生活習慣病の原因の一つであり、ガンや心臓病にも関与する「食事」は、人間を含むあらゆる生物の健康に密接に関わっていることから、最初の健康ソリューションとして愛犬にとっての安心・安全を考えた食事、Buddy FOODの提供を開始しました。

#### 《商品の目的・特徴》

Buddy FOODは、愛犬向けごはんの定期購入サービスです。食品として原料・製法にこだわって作ったごはんを、冷凍した状態で直接お客様にお届けしています。

<Buddy FOODの4つの特徴>

- ①食材は全て鹿児島産を中心とする国産
- ②栄養学を専門とする獣医師監修
- ③人間の食品と同じ原料・安全・衛生基準
- ④高い透明性、原料・製造に関する情報を全て公開



Buddy FOOD

### 発表後の成果・感想

発表後のコメントで、諸先輩方より非常にサポートイブなコメントが得られ、改めて鹿児島という地の懐の深さを感じることができました。

また、発表後も自治体や企業様、多くの方々にブースに立ち寄って頂き、今後の協力や情報交換のため意義のある関係作りができたと考えております。

他社様の発表も大変勉強になり、刺激になるものでした。

改めまして、今回このような機会を頂いたことに深く御礼申し上げます。

### 今後の展望

今後はさらなるBuddy FOODの販売拡大と、企業としての成長を目指してまいります。

具体的には、資金調達、鹿児島県でのマーケティング・エンジニアの採用、システムの追加開発など、スピード感を持って成長を持続してまいりたいと考えております。

Buddycareの事業拡大を通じて、鹿児島の良さ、鹿児島ブランドを、全国の、少しでも多くの方にお伝えしてまいりたいと考えています。



## 特 集

## 新産業創出ネットワーク事業 研究開発支援 (旧 重点業種研究開発支援事業) 支援事例紹介

- 当センターでは、新事業進出のために実施する新技術や新製品の研究開発を行う鹿児島県内の中小企業者に対し、研究費の一部を補助しています。
- 今回は、平成31年度から令和2年度にかけて『旧 重点業種研究開発支援事業』に取り組んだ研究開発事例を紹介します。

### 事例1 「資源循環の取組から生まれる農産物の高付加価値化のための機能性研究及び高機能化のための製造法開発」 有限会社 そおりサイクルセンター

リサイクル率約80%以上の志布志市・大崎町では、食品残さから有機堆肥を作っています。その有機堆肥でひまわりを栽培し、化粧品原料などに使用できるひまわりオイルや脱脂種子、種子殻の有効活用について検証しました。

本事業では、栽培に適したひまわり品種の選定、オイル成分及び脱脂種子の特徴と品質安定性、安全性試験、機能性研究等に取り組み、化粧品や食品等の試作開発を行いました。

まだ商品化には至っていませんが、試作した化粧品やオイル原料への問い合わせが多く、ひまわり種子を確保していくことで今後の安定供給が可能になります。また、ひまわり脱脂種子の栄養価についても解明が進み、機能性のある食品への展開を目指しています。

最終的には、ひまわりオイルや脱脂種子など、余すところなく市場に提供する予定です。

有限会社 そおりサイクルセンター  
代表取締役 宮地 光弘

所在地：曾於郡大崎町菱田

1218-48

TEL：099-471-6050

FAX：099-477-2612

<https://www.gomizero.info/>



「ひまわり畑」



「ひまわりオイル」



「脱脂種子」

### 事例2 「アレルギー症状の抑制に寄与する機能性表示食品として『ねじめびわ茶』を含有するサプリメントの開発」 農業生産法人 有限会社 十津川農場

同法人では、薬効性の高い植物として知られるびわ葉を使った「ねじめびわ茶」を常用茶として販売してきました。この「ねじめびわ茶」がアレルギー性鼻炎の症状軽減に有効であることを確認できたことから、その効果を謳える機能性表示食品の開発に取り組みました。

今回、アレルギー性鼻炎の症状軽減に関与する成分の同定、それら成分の季節的安定性、抗アレルギー活性等について研究を重ね、商品の規格化につなげました。

現在、消費者庁への届け出準備をしているところですが、既存商品の「ねじめびわ茶」に機能性表示食品を加えることで、多様な市場ニーズに応えていくことを目指しています。

農業生産法人 有限会社 十津川農場  
代表取締役 玉置 博祥

所在地：肝属郡南大隅町根占横別府

487-1

TEL：0994-24-5531

FAX：0994-24-5532

<https://www.totsukawa-farm.co.jp/>



「びわ畑」



「ねじめびわ茶を含有するサプリメント」

【お問い合わせ先】 (公財) かごしま産業支援センター 産学官連携課 TEL：099-214-4770

## 特集

食品関連産業「カイゼン」活動強化支援事業  
支援事例紹介

■当センターでは、食品関連企業に対して、カイゼン活動による効率的な生産現場作りを、より一層推し進めることで、資金・人材面等の経営資源への効果等が高まり、さらなる新商品開発や販路開拓への取組などによる経営革新や経営基盤の強化につながるよう支援する『食品関連産業「カイゼン」活動強化支援事業』を実施しています。

■今回は、令和3年度にこの事業を活用し改善活動に取り組んだ事例を紹介します。

## 事例1 作業効率改善

(株式会社 鹿島食品)

## ◆課題◆ 黒字化の達成

株式会社鹿島食品は、2019年度に実施した工場増設の影響もあり、営業利益が確保できない状況があり、2021年度に黒字化を達成すべく、社内でも間接部署も含めた取組を行っているとのことであった。

今回、製造現場を中心に、第三者視点での課題抽出と対応策検討の支援を要請された。



## ◆支援◆ 生産性改善（豚肉ライン・鶏肉ライン）

## 1. チキン竜田製造ラインの生産性カイゼン

- ・カイゼン前…当日の製造指示数に基づき、現場担当は製造を行い、結果を日報として報告していたことから、時間当たりの生産数量は安定しているが、生産性向上の傾向は見られなかった。
- ・対応策 …製造指示数に対して、現場担当から終了予測時間を宣言させると共に、日報に予測時間との差についてコメントを記入するように「見える化」を実施

【成果】生産性が約11%向上した。今後は、作業内容を分析し、ECRS（排除・統合・入替・簡素化）視点での見直しを推進する。

## 2. トンカツ製造ラインの生産性カイゼン

- ・カイゼン前…顧客要求に基づく形状及び重量規格に対して、規格外（不良）が数%発生しており、生産性の阻害要因に留まらず、収益悪化要因にもなっていた。
- ・対応策 …形状不良に関しては、不良現物を用いた顧客と、形状の適否について目合わせを実施  
…重量不良に関しては、パン粉付け作業者が微妙な手加減を行うために必要な重量確認情報のフィードバック頻度を増加  
…製造は、昼休時間の間、中断しており、午後の再開時にライン後半の担当者は、製品が届くまで手空き（ムダ）が生じていたので、昼休みを交代制とし、製造中断を解消（連続運転）

【成果】生産性が約12%向上するとともに、形状不良は70%削減、重量不良は90%削減した。今後は、原料肉から仕様に合わせた形状に切り出す際に発生する端材（トンカツ材料にならない部分）を極限まで縮小する切り出し方法や、付加価値の高い利用方法の検討を行い、収益増を達成する。また、サイクルタイムを見直し、生産性の更なる向上を図る。

株式会社 鹿島食品

代表取締役社長 延時幸子

所在地：鹿屋市田崎町725-3

設立：1987年9月

事業内容：冷凍食品製造業

食肉製品製造業

そうざい製造業

農畜産物の加工販売

TEL：0994-40-1501

URL：https://katorifoods.com/

## カイゼンインストラクターから



温水 洋一

原料投入から製品完成まで自動化ラインでつながっているため、途中に多くの作業者が介在しなければならない実態がある。このため、人の介在には、不良発生や生産性に極力影響しない作業方法の検討が必要である。

日々の実績データ収集は確実に行われているので、データを分析活用することが有効と考えられるので、この点を中心に支援を継続したい。



## 事例2 生産性向上による利益創出

(株式会社 津曲食品)

## ◆課題◆ 生産性向上・廃棄ロス低減・不良率低減・多能工化等

1973年創業の株式会社津曲食品は、「鹿児島の郷土菓子の伝統を守りつつも現代風アレンジし後世に伝える事」を使命と考えて、菓子製造に取り組んでいる。特に、鹿児島の伝統的な家庭菓子「あく巻」については、一年を通して製造販売しており、県内トップの生産量を誇っている。

また、1990年に、「手みやげ処 彦一だんご」を、2015年には「洋菓子専門店 パティスリー アミティエ」を設けるなど直販にも力を入れている。

なお、本社のある地域に当時、宿泊施設がないとの事で、2000年に「ビジネスホテル岩川」の営業を開始するなど、地元と共に成長する企業を目指して邁進している。

今回、製造している商品の生産性を向上させ、安定的な製造体制と利益確保を図るため、製造現場の改善を図りたいとの支援を要請された。



## ◆支援◆ 徹底的な見える化による数値管理で意識改革と改善の進め方の習得等

## 1. 生産性向上

- ・カイゼン前…注文生産を基本としていたため、製造の段取りや機械の組み換えなどに時間がかかっていた。閑散期には時間に余裕があり、繁忙期には残業し出荷に間に合わせるといったムリ・ムダが多い状況であった。
- ・対応策 …年間を通じた在庫管理をし、生産計画立案運用をすることでムリ・ムダのない平準化生産や、1時間当たりの出来高数の目標設定と実績の「見える化」、作業方法の見直しによるムダの改善、清掃・段取り時間等の付随作業の改善

**【成果】** 生産性が2.1倍へアップし、労務費・経費の削減と従業員の労働環境改善に繋がった。

## 2. 廃棄（返品）ロス低減・不良率低減

- ・カイゼン前…不良品・返品が出るのは仕方がないという風潮があった。また、「見える化」していなかったため、損失金額や原因の追究ができていなかった。
- ・対応策 …不良品・返品への意識改革を行う事で、設備起因によるもの・人的起因によるものを意識して作業するようになり、作業者の意識が変わりロス低減を実現

**【成果】** 不良率65.6%減少・返品率49.5%減少と従業員の意識改革に繋がった。

## 3. 多能工化

- ・カイゼン前…従業員一人一人のスキルを把握していなかったため、急な休みや長期休暇の対応ができていなかった。
- ・対応策 …各個人のスキルアップ表を作成し、計画表によるスキルアップ実施

**【成果】** 個人のスキルがアップし、突然の欠員や長期休み希望に対応できるようになった。

株式会社 津曲食品

代表取締役 津曲 浩二

所在地：曾於市大隅町月野3928

設立：1973年

従業員数：80名

事業内容：郷土菓子の製造販売・卸

TEL：099-482-5551

FAX：099-482-5550

URL：http://www.furusatoichiba.com

E-mail：info@furusatoichiba.com

## カイゼンインストラクターから



磯脇 弘人

課題の明確化、データの「見える化」の他、改善の進め方に関するゼミに、社長・工場長・担当者を含め全員が積極的に取り組んだことで、生産性向上、廃棄ロス低減など多くの改善成果が出せた。

利益が出たことで処遇改善、職場環境改善を行い雇用の安定化にも繋がった。

令和3年度は、コロナの影響で売上が減少していますが、今後も継続的な改善を行い、利益を出し続けていけるように支援を継続したい。

《ご利用ください》

# 公益財団法人 産業雇用安定センター

人と企業を結ぶ出向・移籍等の

送出国企業

お手伝いをしています

受入企業



- 人材育成や雇用調整などで「人材の送り出し」をされる時 ※離職前にご相談ください
- 事業の再構築を検討される時
- 定年退職予定の方が他企業への再就職を希望する時

- 事業の拡大や創業、増員・欠員補充など「人材の募集」をされる時、ご要望の人材を紹介します
- 雇用関係助成金の取り扱いもあります

- 47都道府県事務所の全国ネット・ハローワークなど他の機関との併用が可能です。マンツーマンで在職中から再就職までのお手伝いをします。(ご利用は無料です)
- 原則離職後6カ月以内での委託訓練や、各講習等の支援も行っています。
- 経験豊富な講師が、各種セミナー(有料)も行います。
- 系列・グループを超えた出向を通して雇用調整・キャリアアップ・人材育成・他社交流等のお手伝いをいたします。

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください



公益財団法人  
産業雇用安定センター  
鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階  
電話 099-812-9551 FAX 099-258-9101  
<http://www.sangyokoyo.or.jp/>



ISO 審査

教育・研修

【品質】 【環境】 【安全】

## ISO 審査

- ・標準文書無料提供
- ・内部監査員無料研修
- ・県内審査員で交通費ほぼ0

コロナを乗り越え、頑張りましょう!!

ISO 審査代理店

### 南日本審査株式会社

〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田 3344-2  
TEL: 0995-64-5727 FAX: 0995-64-5078  
URL: <http://www.minami-sinsa.com> お気軽にご相談ください



公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center

かごしま産業支援センター

〒892-0821

鹿児島市名山町9番1号(県産業会館2F)

TEL (099) 219-1270

FAX (099) 219-1279

E-mail: [kisc@kisc.or.jp](mailto:kisc@kisc.or.jp) <https://www.kisc.or.jp>